OSK日本歌劇団

紅蓮に燃えた、美しき幸村が奏でる　戦乱「大坂 夏の陣」。

THE WAR OF BLAZE

時は慶長五年（一六〇〇年）、天下分け目の関ヶ原の戦い。真田一族の運命は、対立する東軍・西軍それぞれに「親・兄弟を分けて戦うこと」。兄の真田信之は東軍の、弟の幸村は西軍の武将として戦場へ。父の真田昌幸は、どちらが勝っても真田家が生き残る道を選ぶ。

関ヶ原の戦いは、わずか半日で決着がつき、幸村は高野山の麓・九度山へ蟄居を命じられる。

それから十四年。

豊臣家の家臣である大坂城は明らかな劣勢に立たされていた。「十勇士」と呼ばれる真田家の家来を従えた幸村は、豊臣秀吉への恩義に「よかろう、父上に取りつけた約束は大きな借りじゃ」と、大坂城へ入城する。

幸村の活躍を、近くで見つめていたのは、「上田城」で破った真田家の娘・竹林院。

幸村の紅に燃えた情熱が見たものは